



高取 誠隆 議員

行政サービスの維持・向上に向けた生成AIの活用について

問 新たな生成AIを導入するに至った理由、その後の効果等はどうか

答 職員採用率が3年間で募集人数の75%を下回っている状況を踏まえ、人的資源を補うため生成AIを導入し、文書作成で1,026時間の削減効果が出ています

問 政策部で管理することが、一番効率的ということか。

答 政策部長

行政のDX化推進を所管している部署が、生成AIの導入についても担当しました。今後は活用する業務の内容に応じて、実際にその業務を所管する部署が関わっていくことは重要であると認識していますので、より効率的な運用に努めていきたいと考えています。

問 行政課題の解決に向け、生成AIをはじめとするデジタル技術の活用可能性についてどのように認識しているか。

答 政策部長

市民サービスを維持・向上していくためには、生成AIをはじめとするデジタル技術の活用が喫緊のテーマであると認識しています。本市では令和5年度から生成AIの試行を開始し、令和6年度から本格運用、令和7年12月から全正規職員が利用できる環境を整備しました。

問 新たな生成AIを導入するに至った理由、その後の効果等はどうか。

答 政策部長

本市では、人材確保が厳しい状況にあり、ここ3年間の採用率が募集人数に対して75%を下回っていることから、不足する人的資源を補い、行政サービスを維持する必要があることから、生成AIの導入に取り組んでいます。現在、生成AIを利用できる職員数は615人であり、令和8年5月の利用実績では181人が活用しています。

問 職員向けの研修はどのように行われているのか。

答 政策部長

ICTアドバイザーによる自由参加型の研修を年数回実施しています。まずは実際に触れ、成功体験を積み重ねることで活用を広げていく考えです。現在の利用率は約3割ですが、職員が活用できる環境を整備したところです。

